



国分寺市立中学校部活動の地域展開（地域移行）について

中学校の部活動は、学校だけで支える形から、地域と一緒に支えていく形へと少しずつ変わっていきます。

令和4年12月に国からのガイドラインが公表され、中学校の部活動改革に向けた取組が全国で始まっています。その一つが、中学校部活動の地域展開（※）です。

地域展開とは、これまで学校が主体で行ってきた部活動を、地域クラブ（団体）が主体となって実施していくことです。

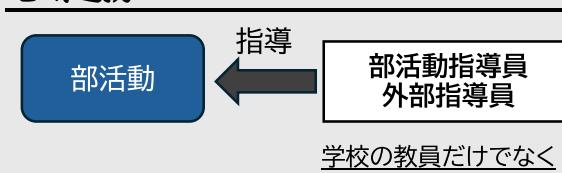
（※）国では、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させ、学校も含めた地域全体で支えることにより新たな価値を創出するという改革の理念をより明確に表現するため「地域移行」から「地域展開」に名称を変更しました。

なぜ部活動改革が必要なの？

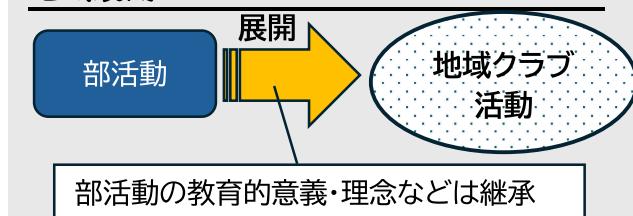
- 少子化が進み、部員数が減少する中でも、子どもたちが望むスポーツ・文化芸術活動をできるようにするため
- 部活動に携わる教員の負担を軽減して、持続可能な指導体制などを構築するため
- 地域のスポーツ・文化芸術に関わる人材を活用し、よりきめ細やかな指導を子ども達にできるようにするため

これからの部活動はどうなっていくの？

地域連携



地域展開



■学校部活動・地域連携と地域展開の違い

	学校部活動・地域連携	地域展開
主体	学校	地域クラブ（団体）
指導者	学校の先生 部活動指導員・外部指導員	地域の指導者 学校の先生（兼業許可された方）
参加者	当該校生徒	市内中学生
場所	当該校施設	設定された施設（学校ほか）
費用	用具・交通費等実費	会費・用具・交通費等実費
保険	学校の保険	団体加入の保険

国分寺市は どんな取組を しているの？

- まずは学校部活動の休日の活動について、地域クラブ（団体）へと段階的に地域展開していくこととしています。

- 平日の部活動については、部活動指導員や外部指導員などを活用しながら、学校主体での部活動を継続していくますが、地域展開の状況や、各校における部活動の状況などを見ながら、拠点校方式や合同部活動などの実施も検討することとしています。

※拠点校方式=特定の学校を拠点として他校の生徒が参加

※合同部活動=複数の学校が連携し、一つの部活動を共同で運営

国分寺市ではどんな種目が地域展開しているの？

現在地域展開している種目



国分寺ベースボールクラブ

吹奏楽・合唱



武蔵国分寺ジュニア・ミュージック・ソサエティ

令和8年度に地域展開を予定している種目

野球



吹奏楽・合唱



令和7年度に地域展開した3種目に加えて

バドミントン



国分寺市
バドミントン協会

陸上競技



ソフトテニス



TWCPE スポーツアカデミー

地域展開することで何が変わって、何が変わらないの？

変わること

指導者が地域の人材…スポーツ・文化芸術の知見をもち指導実績のある地域クラブの指導者が指導します。指導を希望する教員が兼業で携わることもあります。

活動場所…学校施設だけでなく、公共施設や地域クラブが保有する施設等での活動も想定されます。

参加費用…持続可能な運営するために、会費が必要になります。過度な受益者負担とならないように、各種目に見合った金額の会費とするように努めます。

変わらないこと

教育的な意義や理念…技術の向上だけでなく、活動をとおして子ども達が人間形成や人間関係の構築をできることなど、部活動の意義や理念は継承されます。

適切な指導…ガイドラインに沿ったハラスマント等のない指導や、適切な休養日の設定を行い、子ども達に過度な負担を掛けないことが求められます。

安全への配慮…活動で使用する備品や用具等の点検を適切に実施し、また、傷害保険及び賠償責任保険などに加入し、活動に伴うリスクに備えます。

地域展開する種目 はいつ決まるの？

- 地域展開する種目については、市と地域クラブが新年度に契約をして活動を実施します。令和8年度予算成立後に正式な実施が決定するため、現時点では「予定」となります。
- 詳しくは4月以降に、各校までお問い合わせください。